



【校長のひとり言】

もうすぐ1学期が終わります。夏休みが来ます。夏休み中は「戦後…」というニュースや記事が多くみられます。ちなみに、8月6日は過去に何があった日かは知っていると思います。広島に原子爆弾が落とされた日ですね。では8月8日は？ 8月9日は？ 8月15日は？（夏休み中じゃないけど3月10日は？）

広島県人として8月6日は忘れてはならない日だと思います。しかし、実際に体験されている方々の年齢も高齢化が進み、「生の声」を聞かせてもらうことができなくなり、さらに10年20年後はどうなっているのかなあと。

年を取るとこれまで思わなかった事をふと思うことが増えてきました。（私だけかも…）ということから…皆さんは6月23日が何の日か知っていますか？ 同じ類の日ですが、沖縄において軍として組織的な戦いが終わった日「沖縄戦終結」の日です。沖縄は国内唯一地上戦があった場所で、原爆同様多くの民間人の命が奪われた場所です。毎年この日に沖縄では「沖縄慰霊の日」として慰霊祭が行われます。それに向け児童生徒が作文、絵、詩を「平和メッセージ」として書き、選ばれた作品の作者が読み上げます。

内容は右の2次元コードから見ることができます。今年には中学2年生の亀谷琉奈さんが発表されたことを知っている人もいます。昨年度の小学6年生の城間一步輝くんと2人の「平和へのメッセージ」を駅家中の3年生（たまたま居合わせた）6人に読んでもらい、感想を書いてもらいました。



【A君】

僕はあの作文を読んで戦争の恐ろしさは平和学習で学んだつもりになっていたけど、その状況を実際に経験した人の当時の感情は知らなかったなと気づいた。

この作文を読んだことをきっかけに、当時の人は「生きたい」「死にたくない」という気持ちで逃げ続けていたんだなと分かった。

決してこんな言葉では言い表せないと思うけど、本当に恐ろしい状況に常に置かれていたんだなと分かり、胸が痛くなりました。

でもそうやって生き延びてくれたから今の自分があるんだと思いました。

今の自分たちがあるのは当たり前ではなく、その背景には当時必死で生き延びてくれた人たちがいることを考え、自分も必死に生きていきます。

【Bさん】

戦争について私も知った気になっていたところがあります。だけど、この作文を読んでみて、戦争の悲惨さや、当時の人たちの気持ちをより一層考えることができました。それと同時に、今自分たちが、「当たり前」にご飯を食べて楽しく生きられていることは「当たり前」ではなく、1日1日を大切に生きていこうと思いました。

平和を願うだけでなく、相手を大切にする、戦争はなぜダメなのかをしっかりと伝えていくことが、平和につながると思いました。

【Cさん】

確かに平和学習で私も学んだ気になっていました。作文を聞いたその日に、たまたまTikTokで実際のスピーチが流れてきました。何回聞いても当時の状況が簡単にだけど想像でき、本当言葉に表せないほどの恐

怖だったと思います。

今の自分たちがあるのは当たり前じゃないことは、本当にそうだと思います。

これからは1日1日をもっと大切に生きていきたいと思ったし、今の変な社会（〇〇な政治家や情報の誤解など）に流されないよう自分の意思をしっかりとっていきたいです。

【D君】

平和学習や作文を聞いて戦争を体験した当時の人たちは本当に想像できない状況の中で、その中でも必死に生き延びていた人がいたのはとても恐ろしい状況だと思いました。

【Eさん】

作文を聞いて、改めて戦争下にいた人々の辛さが身に感じました。私なら「もういいや」とあきらめてしまふなと思ったけど、当時の人々はどんなにしんどくても「生きたい」という思いで乗り越えてきたんだとわかりました。

それに、生き延びて今過ごしている人も傷は消えない、辛さが残っていることが戦争の恐ろしさを表していて、絶対に忘れてはいけない事だと思います。

だからこそ、戦争の出来事は次世代につなげていくべきだと思います。今の生活は当たり前じゃない事、1人1人の命の重みを大切に過ごしていきたいと感じました。

そのために、小さな喧嘩でも感情的にならず相手の気持ちを考えて会話で解決しようと思います。

【F君】

僕はこの文章を読んで当たり前のことに感謝を忘れない事と過去の出来事を知っておくことが大切だと感じた。僕はこうして元気に中学3年生まで生きることができているけど、これは日本が当たり前のように平和であり、両親や周りの人たちが自分のことを大切にしてくれたから生きてこられていると改めて感じた。この文章で書かれている戦争でも、健康で元気に生きられるはずだった人たちがたくさん死んでしまったと思う。だから僕は健康で元気に毎日を過ごせる。当たり前に平和で毎日起きて学校に行って楽しい会話を友達として、ご飯をおなか一杯に食べられるこの日常を送れることに感謝を忘れないことが大切だと改めて感じた。

また、過去に起こった出来事を知ることでそれがどのようなきっかけで起こり、どのような結果になり、だれが良い思いをして誰が悪い思いをしたのかなど、その出来事をきっかけでいろいろなことに気づけると思う。だから僕はこの出来事を知らない人に知ってもらうために最低限は知って説明できるぐらいこの戦争のことは理解しようと思う。

僕も過去に戦争の被害を受けた福山市に住んでいる身として広島の戦争についても伝えていきたいと思う。そして僕はこれからも学ぶ意欲を忘れず命を燃やして一生懸命努力して生きていきたい。

中3の生徒の10年後、20年後…おそらく大半の人は父、母になっている人が多いと思います。親になって我が子にどう話してやれるのだろうかと一抹の不安を感じました。という私も、こういう仕事を選んでなかったらどこまで気にしていたかわかりませんし、本当の苦しみとか、おごたらしさなどわかっていると到底言えません。でも、何かできることをすることが「つなぐ」ことになるのかなあと考えています。

この感想を読んでうれしかったですねえ。何がうれしいってみんな「〇〇していきたい」とか「自分事」として書いること。みんなこんな考えを持って行動したら争いなんておきないですよええ。

今は、明日の命があるかないかという当時のような時代ではないけど、もし、そういう思いつめている人がいるとしたら、放っとくわけにはいきません。今一度そういう目で駅中の中を見ていかなければ…と思っていますし、生徒のみんなもそう思ってもらいたい。こういうことにつながりかねない「火種」のようなことはないかなあと。

保護者の皆さんもお忙しいとは思いますが、時にはこういう話題で話をしてみてください。それが私たち大人も「自分自身にできること」として。

6人の人協力ありがとう！